

ほっかいっぱいみさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和3年度 11月号



校舎から見える富士山

11月 御小らしさが戻りつつある秋です

校舎から、富士山がくっきりと見える季節になりました。最近、お客様がたくさんお見えになりましたが、みなさん、海越しの富士山に感嘆されました。子どもたちにとっては、当たり前前の景色です。毎日美しいものを見て育つ御小の子どもたち、幸せな環境です。

ほかほか遊びの楽しそうな声が御小に戻ってきました。

9月に受け入れた10頭の子ガメたちは、5年生のお世話で、すくすくと成長しています。個室(かご)で生活していたカメたちですが、最近、日中は広い水槽で過ごしています。泳ぎや潜りも上達し、カメ博士は「体に厚みが出て、とても順調ですよ。」とおっしゃっていました。

御小のうれしい日常が戻ってきています。



広い水槽のカメ

大成功の修学旅行

11月4日(木)5日(金)は、6年生が修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、目的地は東京から富士山・山梨方面に変更せざるを得ませんでした。それ以上に実りの多い、素晴らしい二日間になりました。

子どもたちに預けたカメラには、紅葉・富士山などの景色がたくさん撮影されていました(右図)。6年生が景色に感動し、写真に残したいと思ってくれたことをうれしく思いました。

私は、宿泊先のホテル展望室で、7年目の結婚記念日だというご夫婦と出会いました。「そんな大切な日にお騒がせしてすみません」とご挨拶したところ、「いえいえ、みんな本当に礼儀正しく、感じの良い子どもさんたちですね。今も、椅子を譲っていただきました。」と、大層お褒めの言葉をいただきました。思わず「そうなんです。とっても優しい子どもたちです。」とお返事してしまいました。バスの中は、実行委員主催のクイズ大会で大盛り上がり(笑)。

こうした協調性の高さもこの学年の子どもたちの宝物の一つです。

森の中水族館では、カメやくまのみなどの「柔らかぬいぐるみ」の魅力に骨抜きになった子の、なんと多かったことか。触ると癒される感触のステキなぬいぐるみでした。ぬいぐるみもかわいけれど、それを嬉しそうに抱えている6年生(内緒です)は、もっとかわいかったです。

コース決めから主体的にかかわってきた6年生の子どもたち、めあてどおりチャレンジいっぱい、大成功の修学旅行になりました。アンケート等に真摯に取り組んでくださり、一緒にこの旅行づくりを支えてくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。



児童撮影



ホテルから見える富士

(私もカメのぬいぐるみを買いたかったと、少し後悔している校長 仁平美和子)

